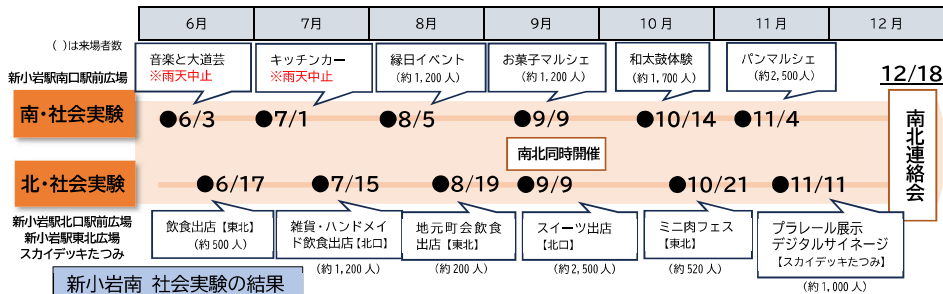


新小岩駅周辺におけるエリアマネジメントの検討について

新小岩駅周辺では、地域主体の持続可能なまちづくりに向けて、エリアマネジメントの事例を地域と協働して進めております。

令和5年度の実績: 駅前広場活用のポテンシャルやニーズを探るために社会実験を行いました。

新小岩北地域・南地域まちづくり協議会から立ち上げた「北地域エリアマネジメント検討部会」「南地域エリアマネジメント検討部会」が中心となって、社会実験を実施しました。



新小岩南 社会実験の結果

【ターゲットの明確化】→乳幼児から小学生までの親子連れが多く見られ、ファミリー層を中心に集客ができた。

【駅前のポテンシャル】→駅前の人通りの多さを生かして様々なジャンルでの集客が見込める。
限られたスペースのためレイアウトはよく検討する必要がある。

【集客性】→人通りの多い駅前広場での集客力は強い。

【収益】→持続可能な運営とするため、経費の見直し、労力の軽減化や収入増の方法の検討が必要。

【商店街との連携方法】
→連携方法については検討が必要だが、駅前広場での集客力を活かした回遊性向上は期待できる。

出店・出演者数 **28**
来場者数 **約6,600**人
※4回の合計
※出店・出演者に重複あり



新小岩北 社会実験の結果

【ターゲットの明確化】→乳幼児から小学生までの親子連れが多く見られ、ファミリー層を中心に集客ができた。

【駅前のポテンシャル】→北口駅前: 人通りが多様なジャンルで集客が見込める。
東北広場: 人通りは北口駅前に比べて多くはないが、テーマによっては広場の賑わいが見込める。
スカイデッキたつみ: 屋根がかかっているため、イベント時の雨の心配がない。

【集客性】→駅前の集客力が強い。

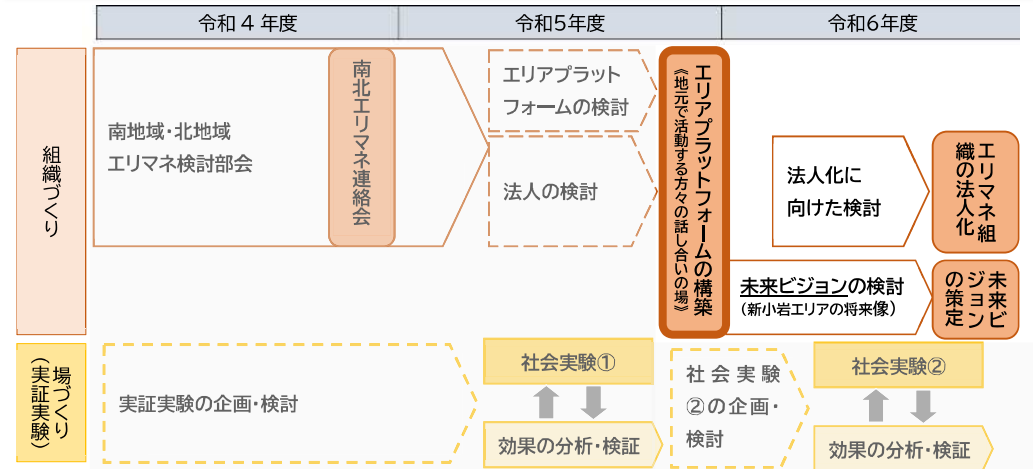
【収益】→持続可能な運営とするため、経費の見直し、労力の軽減化や収入増の方法の検討が必要。

【北側地区全体展開への展望】→6回の社会実験によりパッケージ化(運営ノウハウ)が進んだ。今後は新小岩公園、みのり商店街などの活用が期待される。

出店・出演者数 **31**
来場者数 **約5,920**人
※6回の合計
※出店・出演者に重複あり



令和4年度～令和6年度のスケジュール: 令和5年度末のエリアプラットフォーム設立を目指します。



体制イメージ: 協議会、企業、ファン・ユーザーが参画する話し合いの場(エリアプラットフォーム)を作ります。

